

藤沢市 平成30年度事務事業評価シート(平成29年度分)

事務事業名	六会地区まちづくり事業費										担当課	部課名	市民自治部 六会市民センター			
予算科目コード	会計	01	款	02	項	01	目	12	細目	002	説明	01	課等の長	織部 朋子	電話	6257

1. 事業概要

事業開始年度	平成 23 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	地域主体のまちづくりを推進するため、地域の特性や個性を生かしながら各地区でそれぞれの事業に取り組む。						
事業目的および必要性	地域まちづくりのテーマ「素的なふるさと 六会」を実現するため、地域の力を生かした様々な活動・事業に基づき、地域の特性に応じたまちづくり事業が必要である。						
対象	1. 個人	市民(六会地区)				35,968 人	
根拠法令等	その他(要綱等)	藤沢市郷土づくり推進会議設置要綱					
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施						
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委 託 先 : 特定非営利活動法人 藤沢市民活動推進機構)						
	(委託等内容 : 地域の人材発掘とボランティア先とのコーディネート事業を行い、地域の住民のつながりを深めるとともに、地域活動の推進を図る。)						
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:)						
<input type="checkbox"/> その他 ()							
藤沢市市政運営の総合指針2020							
重点施策名				指針体系コード		その他の計画との関連	
コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進				4-3-51			
関連の深い「市民生活に関する意識調査結果」							
市民意識調査における質問項目				平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
市民の意識が高く、市民参加型の地域づくりが進んでいること				2.8 点	2.8 点	2.7 点	2.79 点
				点	点	点	点

平成29年度 支出済額	事業費節別内訳		
	費 目	支出済額 (千円)	主な事業内容
	報償費	20 千円	六会まちの相談室事業
	需用費	544 千円	花の植栽活動による美しいまちづくり事業・交通不便地区解消検討事業
	1,522 千円 役務費 委託料	269 千円 689 千円	六会まちおこし活動支援事業・六会の伝統文化と歴史調査事業 六会人材センター推進事業
【参考】 平成30年度 予算額	事業費節別内訳		
	費 目	予算額 (千円)	主な事業内容
	報償費	20 千円	六会まちの相談室事業
	需用費	305 千円	花の植栽活動による美しいまちづくり事業・交通不便地区解消検討事業
	1,224 千円 役務費 委託料	210 千円 689 千円	六会まちおこし活動支援事業 六会人材センター推進事業

2. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
正規職員等	3.10	3.00	3.00	1.91
再任用短時・任期付短時職員	0.00	0.00	0.32	1.20
非常勤職員	0.00	0.00	0.00	0.00
合計	3.10	3.00	3.32	3.11

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

3. 事業実施内容・成果

平成29年度 事業実施 内容	花の植栽活動による美しいまちづくり事業 交通不便地区解消検討事業 六会まちの相談室事業 六会人材センター推進事業 六会の伝統文化と歴史調査事業						
	指標名	単位	平成26年度 目標値	平成27年度 目標値	平成28年度 目標値	平成29年度 目標値	備考
成果目標	花の植栽活動を行う団体（累計）	団体数	32	33	33	33	
	参考						
活動実績	指標名	単位	平成26年度 実績値	平成27年度 実績値	平成28年度 実績値	平成29年度 実績値	備考
	花苗の配付数	本	6,700	9,000	7,800	7,100	
成果実績	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	実績値	備考
	花の植栽活動を行う団体数	団体数	32	33	33	33	
数値で表せない効果 六会日大前駅東西口ロータリーの花壇の維持管理を行った。また、年末年始には駅東西口にイルミネーションを設置・点灯することによって、美しいまちづくりの推進につながった。							

4. コスト分析

年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
コスト	行政費用(フルコスト) A	26,122	28,329	30,522	21,076	
	(1)現金を伴う支出 (千円)	29,793	29,301	30,619	25,231	
	事業費(支出済額-②報酬合計)	411	659	487	1,522	
	償還金利子	0	0	0	0	
	人件費合計(①+②+③)	29,382	28,642	30,132	23,709	
	職員数(常勤 非常勤)	3.10 0.00	3.00 0.00	3.32 0.00	3.11 0.00	
	参考:正規職員平均給与	8,880	9,040	9,101	9,219	
	①職員給与合計(常勤)	27,528	27,120	28,499	22,854	
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0	
	③退職金相当額	1,854	1,522	1,633	855	
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	-3,671	-972	-97	-4,155	
	①減価償却費	0	0	0	0	
	②退職給与引当金繰入額	-3,671	-972	-97	-4,155	
	③不納欠損額	0	0	0	0	
④その他()	0	0	0	0		
収入	行政収益(事業収入) B	0	0	0	0	
	(3)現金を伴う収入 (千円)	0	0	0	0	
	①分担金及び負担金 c	0	0	0	0	
	②使用料及び手数料 d	0	0	0	0	
	③国庫支出金	0	0	0	0	
	④県支出金	0	0	0	0	
	⑤その他()	0	0	0	0	
(4)現金を伴わない収入 (千円)	0	0	0	0		
収入未済増減額	0	0	0	0		
収支差額(純費用)A-B E	26,122	28,329	30,522	21,076		
分析指標	項目	花の植栽活動を行う団体(累計) F	32	33	33	33
	1単位あたりの総費用 A/F (円)		816,312.50	858,454.55	924,909.09	638,666.67
	市民1人あたりの負担額 E/人口 (円)		62.45 418,308	67.35 420,619	71.80 425,105	49.30 427,501
	受益者負担率 (C+D)/A (%)		0.00	0.00	0.00	0.00

※1 職員数・・・〔常勤〕一般職員、再任用職員、任期付職員、嘱託職員〔非常勤〕月額報酬の非常勤職員(一部月額報酬の非常勤職員を含む)
 ※2 人件費・・・〔常勤〕任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出〔非常勤〕月額報酬(一部月額報酬を含む)の年度合計額
 ※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成28年度の課題	交通不便地区解消検討事業に伴う予約型乗合タクシーの平成30年度の本格運行に向けた関係各課等との連携。
(2) (1)解決のための平成29年度の取組	関係各課等と連携し、実証運行中の予約型乗合タクシーの利用促進のために地域住民に対して周知活動を行った。また、実証運行終了後も、本格運行に向けて周知活動を行った。
(3) 平成29年度の課題	予約型乗合タクシーの利用率向上に向けた関係各課等との連携。
(4) (3)解決のための今後の取組	平成30年4月からの予約型乗合タクシーの本格運行に伴う、継続的、安定的な運営に向けて関係各課等と連携を図っていく。

6. 事務事業の特徴

(1) 事業の性質	① 法的根拠		
	○	ア=法令等の根拠はないが、市の裁量により実施するもの(イ～オ以外) イ=市の条例等で規定されている事業 ウ=県の条例等で事業の実施について推奨・規定されているもの エ=国の法律で事業の実施について推奨・規定されているもの オ=法律等により、事業の実施が義務付けられているもの(市に裁量の余地がないもの)	
	② 事業実施の位置づけ(市民へのサービス提供状況)		
	○	ア=国、県、他自治体や民間等も、市内や近隣市町村で市民が利用できる同種のサービスを提供しているもの イ=国、県、他自治体等も、市内や近隣市町村で市民が利用できる同種のサービスを提供しているもの ウ=国、県、他自治体等も同種のサービスを提供しているが、一部のサービスは本市のみが提供しているもの エ=本市のみがサービスを提供し、よりよい生活環境の実現、地域の発展、市民生活の向上を目的とするもの オ=本市のみがサービスを提供し、生活基盤の維持・確保、市民の権利維持・安全確保を目的とするもの	
	③ 事業期間		
	○	ア=恒久的に実施するもの イ=年限の定めのないもの ウ=時限的に実施する事業で、終了まで5年以上あるもの エ=時限的に実施する事業で、今後2～4年で終了するもの オ=時限的に実施する事業で、本年度で終了するもの	
	(2) 財政的な特徴	④ 事業費…平成29年度支出済額	
		○	ア=300,000千円以上 イ=100,000千円以上～300,000千円未満 ウ=30,000千円以上～100,000千円未満 エ=5,000千円以上～30,000千円未満 オ=5,000千円未満
		⑤ 一般財源比率…事業費に占める一般財源の割合	
		○	ア=80%以上 イ=50～80%未満 ウ=30～50%未満 エ=10～30%未満 オ=10%未満
⑥ 固定的経費比率…行政費用(フルコスト)に占める固定的な経費の割合			
○		ア=10%未満 イ=10～30%未満 ウ=30～50%未満 エ=50～80%未満 オ=80%以上	

(3) 事業の種類	(4) その他の事業特性
2. 市民等サービス(その他)	

7. 事務事業を取り巻く環境の現状と今後の予測

社会情勢等	郷土づくり推進会議をはじめとした各種地域団体において、担い手不足と役員の高齢化という現状がある。現役世代は、仕事・家庭が優先されると合わせて労働者不足等の社会状況から高齢者が就労するという観点から、地域活動への参加がなかなか見込めない状況にある。防災の観点からは、東日本大震災後は地域の絆、コミュニティの必要性の認識は高まっているが、自治会町内会への加入率は芳しくない。	
他市等の事例	他市においても、地域住民と行政が協働し、地域のまちづくりへの取組を行っている事例がある。	
市民ニーズ	把握方法	地区全体集会、現地調査等
	把握内容	<ul style="list-style-type: none"> ・西俣野地区の交通不便地区解消に向けた取組について ・引地川・一色川沿いの美化活動について ・地域の人材発掘とボランティア活動の推進について ・地域内の公園を安全に利用できるための整備について
	対応等	必要に応じてまちづくり事業に反映させ、関係部署と連携を図りながら課題の解決に取り組む。

8. 事務事業の評価と今後の方針

評価	「素的なふるさと 六会」を目指し、花の植栽活動による美しいまちづくり事業、六会まちおこし活動支援事業、六会人材センター推進事業等に取り組み、地域の特性を生かした郷土愛あふれるまちづくりを推進した。また、交通不便地区解消検討事業は実証運行の結果を受け、新年度から予約型乗合タクシーの本格運行が決定し、安全安心なまちづくりの推進が図られた。	
今後の方針	まちづくりテーマ	④ 健康で豊かな長寿社会をつくる
	事業の方向性	現状維持
	花の植栽活動による美しいまちづくり事業、六会人材センター推進事業等を継続して、地域の活性化や地域の特性を生かした事業を進めることで、「素的なふるさと 六会」を目標とする郷土愛あふれるまちづくりを推進する。また、交通不便地区解消検討事業は、予約型乗合タクシーの本格運行となるが、引き続き利用者拡大等の支援を行う。	

9. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
1	郷土づくり推進会議委員の選定について	無	無	1	1
2	郷土づくり推進会議会議の開催について	無	無	1	1
6	地域市民の相談及び要望の処理並びにこれらに係る連絡調整	無	無	3	3

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

10. 部長確認欄

部名	市民自治部	氏名	井出 秀治	確認日	2018/6/1
----	-------	----	-------	-----	----------